

安全上のご注意

警告、注意及び結線方法の内容をよくお読みの上ご使用ください。

感電、焼損や発熱による火災の原因になります。



警告

- 器具に表示されている定格を超えて使用しないでください。
- 電線は器具の消費電力に合ったものをお使いください。
- この器具の防水性能は、JIS C 0920：1993 による防雨形です。
(水中や水たまりなどでは、防水性能を確保することができません)
- 端子ねじの締付けが緩い状態で使用しないでください。
- プラグとコネクターのゴムボデーは確実に嵌合してください。
- 適用電線以外のものは使用しないでください。
- より線を半田あげして接続しないでください。



注意

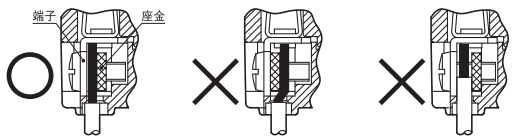
- 本製品は引掛形器具ですので、対応するプラグを差込み右に回してロックした状態でご使用ください。
- 濡れた手で触れないでください。
- カバーなどが亀裂の発生した状態では使用しないでください。
- 刃の曲がったプラグは使用しないでください。
- プラグを中途半端に差込んだ状態では使用しないでください。
- 油・洗剤などをかけないでください。
- 直射日光はなるべく避けてご使用ください。

■適用電線

2CT, 2RNCT	2mm ² ・3.5mm ² 3心
2PNCT	3.5mm ² 3心
VCT, S-VCT	3.5mm ² 3心

■結線方法

- ・圧着端子接続の場合
適用電線の被覆を右図のストリップ寸法に合せて剥き、必ず適用圧着端子を使用し、適正工具にてカシメてください。端子ねじを外し、電線にカシメた圧着端子を端子ねじに組込んで確実に締付けてください。(下記の端子ねじの推奨締付けトルクを参照)
- ・はさみ込み接続の場合
適用電線の被覆を右図のストリップ寸法に合せて剥き、端子ねじを緩め、心線が座金と端子の間に入るように差込み、確実に締付けてください。(下記の端子ねじの推奨締付けトルクを参照)



正しい結線状態です。心線は奥までしっかり差込んでください。

心線が座金の裏に入らないようにしてください。

座金が電線の被覆を挟み込まないようにしてください。

- ・端子ねじの推奨締付けトルク：1.1N・m～1.2N・m
- ・コネクタ本体に電線を結線した後、コネクタ本体をゴムボデーに挿入し、取付ねじで固定してください。(コネクタ本体とゴムボデーは、右図のようにコネクタ本体の凹部とゴムボデーの凸部を合せて挿入し、取付ねじで確実に締付けてください。)
- ・電線は、コードグリップでゴムボデーが著しい変形をしないように確実に締付けてください。

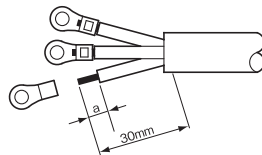
※防雨形の防水性能を確保する場合、明工社製引掛ゴムプラグ (品番：MH2583) をご使用ください。
(この製品以外の組合せでは、防水性能を確保することができません)

■適用圧着端子

2mm² …… R2-4
3.5mm² …… R3.5-4

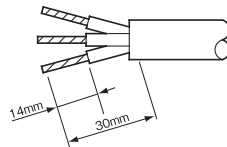
■電線ストリップ寸法 (参考値)

【圧着端子接続の場合】



a 寸法：2mm² …… 6mm
3.5mm² …… 7mm

【はさみ込み接続の場合】



※心線はよじってください。

コネクタ本体の凹部



ゴムボデーの凸部

